

橋を渡つて古町の酒井へ寄る。

宗さんが居る。

宇和島まで歩いて行つて、之から四國を一周して来るから、金を貸して貰ひたいと言ふ。

十圓札一枚手提金庫から出してくれた。

本當は僕は高松まで舟で行つて、大阪へ渡つて、東京の警視廳の前邊りで、日本全國に響くや

うな聲で、ダへの宣傳をやりたかつたのだ。

さもなくば出石寺をのつとつて、大本教のやうに、あそこに立てこもつて、武力的にも一大城

廊を築きたかつた。

宗教的な情熱が湧いてゐたのだ。

雪が降る、心臓は燃えてゐても、血液は冷くなつてゐる。

木刀を金剛杖の如く握つて、力強く大地に突き立てると、漏斗が、カアンカアンと、地球の中

軸から發するやうな音を出す。

それが自分の耳隔に狂熱的に響く。